

新聞切拔

朝鮮關係

N

人口・移民問題

昭和三年
和昭四年
昭和五年

Y Y

13(1)

新聞切

朝鮮關

N

人口・移民

昭和三
和昭四
昭和五

Y Y

13(1

漫然渡航者の

鮮内需要状況

成績極めて良好

内航船が、漫然渡航者に對し之れが阻止して、鮮内労働需要地へ振向け、るべく、總督府社會課、釜山出張所で、盡力してあるが、昨年度中之渡航者は、鮮内各種工場に世話したものは、總數八百六十二人に達した。先は水利組合、河川工事、鑛道工事等の現場に勤勞状況も、就職後四割位は、引き續き、其の成績も、極めて良好であり、且、事業主との連絡が、とれてゐるが、其の主なる工事、先及、安寧水利、左の通りである、四九八

草藥土木出張所	一三二
釜山益山大倉組	一三五
釜山津田組	一〇六
釜山鳳山炭坑	一〇六
釜山里出張所	一〇六
釜山陽土出張所	一〇六
釜山中學工事組	一〇六
釜山北嶺泉水組	一〇六
釜山貯水地	一〇六
釜山裁信水利	一〇六
釜山北益山土木出張	一〇六
釜山鐵道北線	一〇六
合計	八百六十二人

不渡手形減少
交換所四月中の不渡手形數は枚數七十一枚、金額一萬四千九百十三圓、で三月中に比し枚數八枚を増し、金

漫然渡航鮮勞の

阻止方法改正

五月中にやる模様

【釜山】大正十四年五月以來釜山埠頭で阻止する漫然内地渡航鮮人労働者問題につきはとかくの非難があるが南鮮視察の途次來釜した山梨總督はこれについて現行法を改め各地元においてこの阻止を實行し釜山ではその證明の有無のみを調べることにすると明言したが、これが改正の時期は五月中となる模様でこの業務は内務局

社會課が擔當するとしまつ鮮内各道にある社會事業係の權限を擴張せしめ同係と地元各警察署とが連絡して十分調査の上渡航證明書を地元で直接交付し釜山では慶南道社會係員が棧橋で渡航證明書を所持するものに限つて渡航せしめ万止むを得ないものには同係員が渡航券を發行するやうに改正されることと傳へられる

在滿鮮人問題の

根本方針は確立した

釜山

3. 5.

全南警察部長の記者檢束問題

淺利警務局長談



在滿鮮人問題につき東上中であつた淺利警務局長は李王同妃兩殿下の御歸鮮を御警備申上げ一日午後七時四十分着歸任したが往訪の記

者に語る
詳細は既に新聞で一般は承知して居ることと思ふが在京約二週間、外務省を中心に關東、陸

軍側其他關係者から各其意見を持ち寄り慎重審議の結果中央政府に於ても根本解決方針の樹立は其の成案を見たが其の内容に就ては明言を致しかねるが孰れ政局の安定と共にこの問題は解決さるゝ事と信ずる
更に全南警察部長の記者檢束事件に質問の矢を向けると
まだ歸つたばかりで何事も知らぬがあの問題は既に解決して居るのではないか、萬一解決されてゐなければ直に調査して適當の解決策を計らねばなるまい

内鮮融和の大殿堂

下關昭和館落成す

山 5.18 宿泊室から授産場まで設けた

鮮人労働者の道しるべ

(下関) 下関を經由して内地に渡
來し又は朝鮮に歸還する鮮人に對
し必要に應じ案内紹介保護等諸般
の施設を加ふる、共に一而市内在
住の鮮人に對する内地化及び同胞
意識涵養に努め、個々日本を諒解
せしむる所謂内鮮融和の目的を以
て、下関市大坪町に豫算六萬三千圓
を投じ計畫された昭和館(隣保館)
は、九月の日子を費して、愈々竣
成したので、五月十四日工事請負人
經營者たる財團法人山口縣社會
事業協會との間に受授を完了した
るを以て、三十日多敷知事並に關
係人を招待して之が開館式を舉行
し、六月一日より事業を開始するこ
となつたが、昭和館は敷地三百五
十年を有し、本館の建物は木造二階
建、五百五十坪(延三百坪)と附屬
物、木造平家建物(授産作業場)二
十坪にして、其の本館の階上を簡易
宿泊所とし、十八室、百二十人を収容
し得る設備を施し、階下には二、三
百人を收容するに足る會談、教化
講話室を兼ねた大禮堂及び事務室
並に圖書縦覽室と大浴室を設け、職
員には朝鮮及び朝鮮人を理解せる
内地人の主任を置き、其下に内地
に於て高等の教育を受けた少壯有
爲の朝鮮人にして事業の性質を十
分理解した書記二名を配し、渡來又
は歸還する鮮人の案内、施設、職業
の紹介、宿泊供給、教化、人事相
談、救済、提携の業務に従事せしめ
眞の内鮮融和の實現に資すべく事
業を開始する筈であると

通學校内で開催した参加者は、川
縣の二ヶ郡の各地主、農協関係者
各關保、官廳並に主要人物等、五十
餘名で、海田農協課長、臨時一般主
の意見聴取の、將來の施設方針、小
對し説話を試みる等、地主が直接小
作人を指導する上に於て裨益すべ
處趣から、最も意義ある會合であ
つた

朝鮮人の生活一瞥

歸國する

朝鮮人が非常に増した

それは不景氣による失業者達

「大阪内地移民」のそ

の二郷を占める大勢で、朝鮮人

がどんな生活をしてゐるか

これをもつて見て内地一般

朝鮮人の生活状態が知らうと

いふもの、なほ朝鮮人の希望

内地人への希望なども記し

て見よう

◇「近ごろ歸郷する朝鮮人が増し

た」昭和二年度と三年上半年の統計

の数をみると、入國の純四割が

歸郷してゐる、大正十五年までは

朝鮮人の内地渡航者が激増して空

國を滿して廿万と算せられ、この

海外的増加率は一時各都市の有力

者によつて社會問題視されたが、

それが僅一年でまたない今日、

なぜ朝鮮人が歸國するか」と内地研

究者達によつて歸國の理由が裏面

目に破綻されてゐる

◇「彼ら研究者の卓上には歸國の原

因が打つて續く内地の不景氣に基因

するが、或は農産觀念から来る失

業地獄に墮へかねてか、等々の村

料が積まれてゐる、記者は實相の

せひめいを求めるため先づ大阪朝

港および大阪から歸國する朝鮮人

達にその理由を聞いて見た――

◇

△學生は――朝鮮も七、八年前

から教育法を改革して内地人と

變らない教育法即ち一視同仁の

教育を受けてゐるが、内地へや

つて来て我々朝鮮人は本當の意味

において教育を受けた民族でな

い一方に偏した教育を施されて

ゐたことを知つた、たとへば總

理大臣の名は勿論、朝鮮總督の

名も教はらなかつたからした

朝鮮の語込教育を恨む、歸國後

更につとめて我らの内部から變

しい天性を引出して再び進んだ

内地の教育を受けに來ます

◇R農夫は――鹽竈町が直接の原

因ですが、一部不良分子のため

内地人から惡感情を持たれ、ど

の土地でも樂い一家をかまへる

ことができず、鹽竈に二、三

人といふ難居生活も歸國の原因

の一つです、しかし内地は有難

し、残り一割は鹽竈町と鹽竈町金

金百円也の小成功者である

◇

と瀬州島へ歸る二家族のお百姓さ

んが金百円也の現金を記者に見

せ、喜々として歸國した

◇

○労働者はトローカーから

内地は進んでゐる金が儲かると

聞いた、またお伽話に出てく

るやうな在國の如き夢だとも聞

いた、だが現実は朝鮮以上に生

存競争が激しい、生活程度が高

い、賃金は朝鮮よりは一日が一

円五十錢位高いが、労働時間が

總計、慰安機關が一つもない

と、ぐちたらんくの體國振り

◇

◇以上の話をはじめ 各方面の村

料からやはり内地に入る朝鮮人の四

割におよぶ歸國者のうち三割まで

内地の不景氣による失業が因とな

し、残り一割は鹽竈町と鹽竈町金

金百円也の小成功者である

朝鮮人の生活(下)

るけおに地内

三三三三三

思慮静養をして欲し

柑橙愛會の積極的活動

◇次ぎに内地における鯨人の生活。内鮮研究者達は内地企鵝の鯨人状態、希望、努力を説いて早うの待遇改善の急を説き、更に口を

一戸をかまてゐるものは中産階級以上、他は盡一揆に一人といふ。庶民生活があつて、彼ら一ヶ月の暮る圍き信念がなく、一時的の感傷に

收入は青學生十五兩から廿五兩、
労働者卅兩から四十兩、會社員三
十兩から四十兩で、一人前の生活
費は十兩から廿兩までの本國と同
じ粗食生活を續けてゐる

△
◇ 鮫人達から慈父の姫を奪ひ去られ
てゐる相愛の鮫人達をばしめ、

から物好きに思はしからぬ思想に
附和並同する傾向があるから、こ
の國內地の識者は内地渡り成人の
無算の輩に精神的の思想導導方法
を考慮されたいといつてをる

△
◆また内地渡歴者が露露に各方面に勢力して行かうとしないのは悪い

感である、努力しようとするは、藝術、宗教、教育、科学、産業など各方面がある、産業の如きは政治と密接である。

活と閑靜するところかきこふる大
 であるから、除外するとしても、
 衛、宗教方面に未だ眞實に努力し
 てゐる青年のをるもを耳にしない

幾多階級の歸國者はもう少し努力を發方敵にわたつて試験を管め、歸國を思ひ止まなければならぬと諄つた

△

◇最後に大蔵における鯨人の救済
機願を託べて見る……大蔵人は事

(大正十五年十一月に大阪毎日紙上で報じた) 阪急沿線の工氏は朝晩民族の健全な自覺を將來の青年に明かにしようといふので、

融合合同化の機運を促進しようと大
きな抱負のもとに華人學生の育英

に専心してゐる

分子が故に住居などを不潔にし
移転を命ぜられると立退料を請求
したりして家主や附近の人々を悩
まし、これら一部のものを憎

大部分の敵人が内地人から惡感を抱き、府縣の諒解を得てこれら不良分子を殺ぐべく實地行動に着手した。

内閣の融和の機会ある度に幾多の機軸を握ひ、徹底的な努力を續けてゐる、一方大隈在任の各道出身者

内は勿論就傭まで親切に世話し、
露などに案内を設け土地案

主に對抗するため大阪鶴橋に住
二棟を立てるとなつてをると
ふ(完)

朝鮮人労働者の

内地渡航につき

改められた阻止方法

【釜山】問題の朝鮮労働者の内地渡航阻止はいくく本月十五日から警務局の方針により左の如く改められることに決定した、それによると

▲就職口の確實と認められるもの

▲船車の切符その他の諸費を見積りそのほかに一人に付十円を所持せるもの

▲モルヒネ中毒者にあらざるもの

▲労働ブローカーの募集に應じたものではないと

右の條件により内地渡航資格者を定めこれに對し各地元の警察署あるひは警察官駐在所から釜山水上署あての紹介状を發行して本人に提出せしめ釜山では只その紹介状の有無と、本人であるか否か、また規程の準備金を所有してあるかどうかを調べて乗船せしめることになつてゐる、この改正の方法に従へば従來釜山まで出かけて來た上で渡航を阻止され、郷里にかへるにも旅費がないといふ悲惨事を演出し内地渡航者に多大の苦痛をあたへてゐたのをよほど緩和する、しかしこれとて勿論不徹底の非難はまぬがれぬが、今日の狀態より見てこれ以上の良法はないとされてゐる

分に附された百九十余名を復活さすべく種々善後策を考究中であつたが、晋州高普、同農校盟休事件があつたため一時見合せその後兩校とも無事に解決したので再び運動を繼續することとし、同會臨時事務所を釜山府湓州町に設け十日午前十時から委員會を開き具體的方法について協議するとなつた

朝鮮軍除隊兵の

國境移住計畫

地元各面民は大反對

國有林拂下げに伴ふ

燃料採取難が因

【京城】近衛聯隊附歩兵中佐武雄俊一氏の朝鮮軍除隊兵國境移住計畫に對し、地元咸北廳源面民は軍馬補充部ができたのでさへ溫突の燃料採取に困難してゐるのに、除隊兵移住が實現すれば同村内の不要な國有林約三千町歩は必然移住計畫者の手に歸するは明かです。燃料不足となり生活が脅かされるとて舉つて反對し寄々對策を協議してゐたが、このほど各區代表廿九名が會合協議の結果國有林一町歩三円（拂下げ標準價格廿円）で拂下げ方の嘆願書を總督府へ提出し、不許可の場合一同で出頭陳情する事になつた

杉

弱つてゐる

内地渡航者

對策もあるまい

御大禮終りに農閑季に入つたので内地渡航者数は激増し日々二、三百名を算してゐるが一方内地では此鮮人労働者激増を憂慮し過般も望月内相より山梨總督に渡航阻止の懇談があつたらしく従つて内務當局でも此阻止對策に弱つてゐる、警務當局としては保護的阻止に努めてゐるが御大禮期間の如く強制的に阻止は困難なので現に當局としても十二月に入つては本人の希望、就職先確定手續き完了のものは渡航せしめてゐるが之をしも阻止するとすれば人道問題も起る免れないだけ弱つてゐる

朝鮮に滞在した夫人の船室には中日の寫眞が掲げられ香煙として絶えず夫人は面を洗つて見受けた同族の齋藤ニユーヨ外務省領事や大本教の淺野和三郎も寄港した

渡航鮮人の人

版朝鮮毎

身許證明は

殆んど偽造

驚くべき事實を發見して

釜山水上署の嚴戒

【釜山】慶南警察部では最近内地渡航朝鮮人労働者が渡航證明書を貰ふため携帯して来る各自の民籍謄本等について官印、公文書などの偽造行使犯罪が日々激増するに鑑み、釜山水、陸兩署と連絡して秘密裏に調査の結果釜山第一棧橋附近で毎日五件乃至十件づつ檢査されてゐる同犯罪者のほかに意外にもすでに毎日朝夕渡航した六百名乃至

千名の朝鮮人中、各地元警察官で身元證明を拒否した者がほとんど全部同一犯罪を敢行し釜山水上署渡航阻止係の目を晦まして渡航してゐることを發見し、二十二日夜から當分の間は渡航を許可した朝鮮人のみの民籍謄本を一時沒收して身元證明書を發行した各地元警察官に直接眞偽如何を全部開合せて調査することになった、渡航者の民籍謄本の余白に地元警察官が

本人の身元を證明捺印する制度は大正十四年十月、朝鮮人労働者渡航阻止を開始して以來總督府の諒解を得て慶南警察部が昨年九月から實施したもので、勝手に身元證明書を作製して官印を偽造行使し渡航するものは少くとも毎日百名内外と見られてゐる、なほ釜山水上署では同犯罪防止に全力を傾注して取締つてゐるが、いつも同署で取扱ふ司法事件は殆ど同犯罪のみで留置場は常にこれらの容疑者で満員である

朝鮮國勸誘に就て

東京市が市内に於ける自由業者の失業對策として掲げたる五大要目の内に、成る可く鮮人由労働者に對して歸鮮を勧誘する云々のあることは、之れが對策の立案者たる市の高級助役には曾つて朝鮮に在つて警察行政の第一線に立つた白上君のあることに鑑み、相當に注意すべきことである。

東京市が今回の失業對策中には、地方から就職を希望して漫然上京する者に向つても出来る丈、入京を思ひ止らせる方策を執る云々の一項のある點から考へ、必ずしも鮮人に對する民族感情に基いて立案されたものとは思はぬが、東京市内に散在する二萬餘の鮮人由労働者の一身上には、可なり大きな衝動を與ふるに相違ない。

◇

鮮人の身の上になつて考ふれば、彼等の東京行きは勿論、其の大部分が漫然たる就職希望者にせよ、單純なる東京見物の心持で上京してゐない筈である。然るに彼等の前に適當なる職が與へられずして、歸ては歸鮮した方がお前達の爲になるだらう、と言はれた時の感じは、勸誘する方に異民族に對する妙な感情が

毫もなく言はれた方にすれば、吾々朝鮮人を馬鹿にするとか、差別待遇であるとか、兎も角、平靜な心持で受け入れ難い場合が、多々起つて來るに相違ない。

のみならず、鮮内に於て適當の職を求め得らるゝならば、いかで彼等とても漫然上京を敢てするものではない、故郷に於て求めんとするも職を與へられず、決然、志を立て上京するも亦容れされざるのみか遂に追はるゝに於ては、彼等は果していつくに安住の地を求めんとするか、彼等の境を思へば實に同情に値すべきである。

◇

素より東京市當局の試みたる歸鮮勸誘策が、同市内の失業狀勢を緩和する迄に適當なる効果ありや甚だ疑問であり、恐らくは骨折り損の草臥れ儲けに終るが關の山であらうが、効果があらうが無からうが鮮人に與ふる感情の上では同一である。寧ろ或る意味から言へば、所期の効果を擧ぐるこゝが出來ずに、然も相手方の感情をそこなふ如き遺口は、極めて拙劣極まるものである、と評し得る譯である。

要するに前記の東京市の
以ては、企業者が我首都た
る東京市であるに、實際
には鮮人の身の上を善意に
考慮したことになるにして
も吾等の途は沮まれたりこ
言ふ感じを、鮮人大衆に與
ふるのは案外に強いのであ
る。そこで相當に考へのお
る鮮人間には、吾等に職を
與へよ、安住の地を與へよ
と叫ばんとする機運を、激
成することになり易いこ考
へなければならぬ。

連袂辭表撤回

釜山府の十四府協議員が
瓦電買収起債不認可の責を
以て連袂辭表を提出し、而
も總總府より追加命令が會
社側に發せられて、それを
撤回した事實は、前號の本
欄に於て吾人が、朝鮮に於
ける府政の前途に鑑み甚だ
遺憾であり、總督府の對策
如何によつては穩便なる解
決を希望する旨を切言した
のであつて、而も結果は吾
人の輕舉冒動を戒めたる通
りに落着したのを深く悦ぶ
のである。

然し乍ら、瓦電起債不認
可によつて惹起された事態
に對する官標當局者の責任
をも、これで全部解除さな
つた譯でないから、更に究
極の結末如何は、大に注目
に値するものがある。

の言ある以上吾々は早晩何
等の形式に於て之れが具體
化する、ものゝ信じ、而も
それを待つに甚だ切なるも
のがある。

吾人は、東京市の對策を
根本的に非議する者でない
が、其の對策の與ふる衝動
は相當に強かる可き所以を
述べ、一日も早くそれに善

4.10:

何とか緩和策が講じたい

相愛會
朴副會長談

【釜山】相愛會副會長朴春琴氏の語つた内地に移住するよりその
るところによれば最近の東京に於ける鮮人は約四萬に達し學生と稱
されるものは二千位はあらう、勞働者は一日二圓位の賃金になるか
ら朝鮮よりも遙に高い賃金で生活は可なり樂であるが住宅艱に襲は
れ、

馬うましたいと思ふ、最も鮮人として出馬しゅますることが各方かたがた面に悪影響あくえいきやうを與あたへなれば中止ちゅうししやうが政治的せいじてき啓蒙けいもうの意味から云へば肯定きやうていもされ躍はなすることゝ裏書うらかきしてゐた

はず結局は立退料を要求する様に原因、結果が錯綜して住むに家なき情態となつてゐるそれ故少しの空地があると其處にトタン家が何十軒となく驟く間に出来るといふ始末だ、自分等としては低利資金を融通して貰ひ郊外に住宅を作り其處に收容したい計畫を立てゝゐるが如何にも實現が困難に思はれる、内地渡航も先づ住宅難を解決して然る後何等かの方策を決する必要があらう、滿洲方面は氣候その他の點で鮮人の移住に適してゐるので政府の後援の下にその方面の移住を奨励することが國家として利益があり又鮮人としても行

朝鮮婦人の

行商を

2 業就にるか

相愛會 授産事業

(東京) 1 米無い」とか

「朝鮮歸る」か云つてはう

るさく街頭乞は同様な行商

をややつてゐる朝鮮婦人や

小兒の救済方につき、内鮮

融和團體の相愛會及び朝鮮

キリスト教青年會等では昨

年來頃々惱ましてゐたが、

思想的立場 等より

其成績は思はしくなかつたので、今回相愛會本部では別個の方法をとる事になり各支部保護部と協力して街頭をさまよふ人達を各本支部に收容し、授産事業を行ふ事となつて目下本支部協議員會によつて計畫が進められつつあるがこの授産方法に東京市社會局及び府の兩授産場と聯絡を取り内地産業に關する方面を習得せしむる一方

新方面の開拓として

朝鮮より各材料を取らせ朝鮮特有手工藝品の製作を行ひ之を市内の各テバート及び關係商店の手を通じて販賣する方法であつて之は相當資金と設備を要する事とて即刻と云ふ事には行かないが永久的事業として基礎あるものとする豫定であると云ふ

再渡航する

鮮人労働者の福音

警保局に建議する

内地で許可證を與へおくやう

朝鮮版
福岡縣社會主義の縣内鮮人保護協議會、東島田司市立職業紹介所主任の左の意見により内地にきてゐる鑛山ならびに工場労働者以外の鮮人は歸鮮した際、再渡航許可證を改めて受けねばならず、これには相當時日も要するとして再び内地に引返して來た時には折角の勤め先も失くなつてゐるやうなとも往々に

して見られるので、かくては内鮮融和の根本精神にも反する結果を招來する
警保局當局に之ら鮮人にも歸鮮の折は内地で再渡航許可證を與へ置くやう建議するととなつた、同建議主旨採用に至らば内地で働く朝鮮の人々には想像以上の福音をもたらすものと見られてゐる（福岡發）

内地在留

朝鮮人に福音

内地再渡來の證明の事

8.15
5.

世相の深刻化するに連れ失業生活
苦に喘ぎつゝ職業の尖端を馳せて
内地に憧憬を航する朝鮮人の關
船旅客は昨今減少の模様
なるが向各地に失業し轉々流浪す
る朝鮮人就職希望者を一掃求職者
中に迎接し前途に光明と慰安を與
へ職業的意圖を内地習俗其他
の特殊教育の實際的指導に従事し
理解ある求人開拓を相待ちて紹介
就職に努力する門司市立職業紹介
所は従來屋内使用人、店員、官衙
等に現在勤務し家事其他の事情に
よりて一時朝鮮に旅行せんとする
もの、内地再來渡航證明に關して
は工場、山嶺、労働者以外何等證明の
便宜なく自然新渡來者同様の手續

きを履ましめ公私の繁雜なる無駄
手数を重れつゝあるを慨し疊に福
岡縣知事主催の第三回朝鮮人保護
協議會に提案し同知事より内務、
拓務兩省及朝鮮總督府に於し内地
在留朝鮮人一掃労働者内地再渡
航證明範圍擴張の件を稟議中であ
つたが、偶々私事旅行で上京した桑
島門司職紹介主任は内務省警務局長
大塚氏を始め拓務省其他各關係方
面を訪問し該條運動に努めた結果
内務省に於ても其必要を認め既に
各府縣地方長官宛通牒を發し朝鮮
人保護策の上に一生面を盡し得る
事になつた

九州の一角に

平和な鮮人村

家族を合せ二百人の一團

内鮮融和の實も擧る

煤煙の街門司の一角——労働農半漁の全部落一千人よりなる
者密集地に眞に奥床しくも麗しい平和な朝鮮村がある

周防灘に面した至極靜穩な半

末松清一所有の採石場及び之れ
掘鑿中の石灰山、八幡市黒崎町

ため搬出に従事する家族を合し
二百人一團となつてゐる鮮人部
落である

△

事業主田中佐十郎配下の所謂
鮮人親分飯場頭に金致圭（日本
名金本五郎）金致曠（同金澤蘇世
）金相限（同中山）の三名があつ
て指揮督勵し毎日仕事に致々として
いそしんでゐるが純朴な同
村内へ鮮人労働者の侵入に最初
たびへ切つてゐた部落民は彼等
につきものゝ如く信じられた喧
嘩、口論、搔つ拂ひ等も全然な
く潤厚で勤勉で而も友誼に厚く
親分を異にする長屋いばば敵同
士の並列にかかはらず相互間の
紛争も皆無である

△

同地駐在野口巡查平素の訓話
指導に彼等も思慕し、ために犯
罪一つ起らず衛生觀念も割合に
普及し今では村民との融和もど
れその睦まじさには野口巡查も
「この様な事は彼等の社會では
極めて珍らしいことである」と
心から悦んでゐる、中にも金致
曠の如き朝鮮では學校教員をし
てゐた智識階級者もあり、夜な
／＼子弟教育を怠らず今夏以來
二組の結婚者も出來て益々圓滿
振を發揮してゐる